

県議会議員選挙を振り返って

4月に行われました埼玉県議会議員選挙におきまして、大変寒い中、そしてご多忙中、本当に大勢の皆様にご支援・ご協力を賜りました事、心より厚く感謝申し上げます。

私の力不足のため残念な結果に終わり、ご支持いただいた皆様には、ご期待に添えなかったことを改めて衷心よりお詫び申し上げます。

今般の選挙戦では、大変残念なことに、多くの怪文書や風説が流されました。非常にゆゆしき事態であります。あまりにも一方的に、大量の怪文書がまかれたということなので、この場をお借りして、その真実を説明させていただきます。

私は、上は25歳から、一番下は10歳までの2男・4女の父親として一生懸命にその勤めを果たしている最中であります。また、社会福祉法人の理事長として、幼い子どもたちを預かる責任を常に念頭におきながら生活してまいりました。私が実子以外によその女性に子どもを産ませたとか、妻に暴力を振るっているとか、全くの事実無根であります。その他にも、あたかも選挙違反があったような内容のものもありました。このような誹謗中傷は、絶対に許せません。これこそが、犯罪そのものです。

選挙後の半年間、私は、考えに考え抜きました。今後、どうしたらよいただろうかと。そして、ご支持ご支援を頂いた方々にもご意見を伺いながら、自分自身で出した結論は、「地域発展のため、上尾市の未来のため、微力ながら力を尽くさせていただきたい。」ということです。

私は、これまで受けた卑劣な行為に決してひるむことなく、逆に、このような犯罪がない世の中、正しいものが正しいといえる世の中、そして正直者が損をしない世の中を作っていくことが大切であると強く感じております。

今までよりも増して、次世代に責任を果たし、より良い上尾を築くべく、粉骨砕身、努力をして参りたいと決意を新たにしております。

平成23年10月吉日

新井 金作